

# 生

あついている  
LIVING BONE

大切なのは、  
理屈以前に骨そのものを

**じっくり見る** ことだ。

描画や彫刻に挑みたくなるくらいに  
相手を見つめてこそ、

**骨との対話** ができるようになる。

展示監督：遠藤秀紀

監督助手：武田精一郎・谷尾 崇

# 骨

2020  
9/8 Tue. — 11/7 Sat.

9:00–17:00 [日曜祝日休館] 入場無料

開催場所 文京区教育センター

文京区湯島4-7-10 TEL：03-5800-2591

東京大学総合研究博物館 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp>

文京区教育センター <https://www.bunkyo-kyo.ed.jp/ed-center/>

東京大学総合研究博物館スクールモバイルミュージアム

展示物：東京大学総合研究博物館収蔵動物骨格コレクション

骨を見る機会は少ない。写真や絵やせいぜい博物館の展示場がその場面をつくるくらいだ。そして動物の骨が飾られるところには、必ずといっていいほど小難しい理屈が記されている。しかし大切なのは、理屈以前に骨そのものをじっくり見ることだ。描画や彫刻に挑みたくなるくらいに相手を見つめてこそ、骨との対話ができるようになる。まずは骨の姿を思う存分受け止めてから、少しばかりの考え方を話し合おうか。実は骨には、「いま」と「昔」が記録されている。いまとは、動物が自然界を生き抜くために凝らしている骨の工夫のことだ。また昔とは、生き物としてたどってきた骨の歴史を指す。形を見るのに少し疲れてきたあたりで、さて、骨のいまと昔を考え始めよう。

# 骨

LIVING BONE

おもしろ

**URL** 東京大学総合研究博物館 <http://www.um.u-tokyo.ac.jp>  
文京区教育センター <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/ed-center/>

**開催場所** **文京区教育センター**  
文京区湯島4-7-10 TEL: 03-5800-2591

**開催日時** 9月8日(火)~11月7日(土)  
9:00~17:00 [日曜祝日休館]

入場  
無料

**アクセス** 地下鉄千代田線「湯島」駅より徒歩8分  
地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩10分



展示物：東京大学総合研究博物館収蔵動物骨格コレクション

情勢に応じて、開催日時が変更になる可能性があります。  
ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。  
状況により、会場内の人数制限を行う場合があります。